

令和7年度前期 情報検定

<実施 令和7年6月15日（日）>

1 級

（説明時間 13：20～13：30）

（試験時間 13：30～14：30）

- ・試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・解答用紙（マークシート）への必要事項の記入は，試験開始の合図と同時に行いますので，それまで伏せておいてください。
- ・試験開始の合図の後，次のページを開いてください。＜受験上の注意＞が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・試験問題は，すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び，解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと，不正解になります。
- ・辞書，参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・電卓の使用が認められます。ただし，下記の機種については使用が認められません。

<使用を認めない電卓>

1. 電池式（太陽電池を含む）以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓（計算状態表示の一行は含まない）
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
 - *パソコン（電子メール専用機等を含む），携帯電話，スマートフォン，タブレット，電子手帳，電子メモ，電子辞書，翻訳機能付き電卓，音声応答のある電卓，電卓付き腕時計，時計型ウェアラブル端末等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

＜受験上の注意＞

1. この試験問題は17ページあります。ページ数を確認してください。
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。筆記用具が破損等により使用不能となった場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 試験後の合否結果（合否通知）、および合格者への「合格証・認定証」はすべて、Web認証で行います。
 - ①情報検定（J検）Webサイト合否結果検索ページ及びモバイル合否検索サイト上で、デジタル「合否通知」、デジタル「合格証・認定証」が交付されます。
 - ②団体宛には合否結果一覧ほか、試験結果資料一式を送付します。
 - ③合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題 1 飲食店での飲食料金の割引に関する次の記述を読み、各設問に答えよ。

ファミリーレストラン J では、単品料理と宴会のコース料理 (3,000 円、4,000 円、5,000 円のコース) を提供している。飲食料金は、割引の条件に基づいて割引を行っている。なお、複数条件を満たす場合、併用できるものを除き、割引率の高い方のみを適用する。

[割引の条件]

- ・会員登録をすると飲食料金が 10%引きになる。会員割引と呼ぶ。
- ・注文の合計金額が 5,000 円以上の場合、飲食料金が 5%引きになる。注文金額割引と呼び、会員割引と併用できる。
- ・誕生月の人がいる場合、同席者全員の飲食料金が 10%引きになる。誕生日割引と呼び、会員割引と併用できる。
- ・宴会の 4,000 円以上のコース料理を注文の場合、8 人以上の利用で飲食料金が 20%引きになる。コース割引と呼び、他の割引と併用できない。
- ・宴会のコース料理を注文してもコース割引が適用されない場合は、会員割引や注文金額割引が適用可能となる。

<設問 1> 次の割引率を求めるデシジョンテーブル中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

表 割引率に関するデシジョンテーブル

会員である	Y	Y	Y	(1)	N	(2)	N	N	—
注文の合計金額が 5,000 円以上である	Y	Y	N		Y		N	N	—
誕生月である	Y	N	Y		Y		Y	N	—
4,000 円以上のコー スで 8 人以上である	N	N	N		N		N	N	Y
5%	—	(3)	—	—	(4)	X	—	—	—
10%	—		—	X		—	X	—	—
15%	—		—	—		—	—	—	—
20%	X		X	—		—	—	—	X

(1) , (2) の解答群

ア.

Y
N
Y
Y

イ.

Y
N
N
Y

ウ.

Y
N
N
N

エ.

N
Y
N
N

(3) , (4) の解答群

ア.	<table><tr><td>X</td></tr><tr><td>—</td></tr><tr><td>—</td></tr><tr><td>—</td></tr></table>	X	—	—	—	イ.	<table><tr><td>—</td></tr><tr><td>X</td></tr><tr><td>—</td></tr><tr><td>—</td></tr></table>	—	X	—	—	ウ.	<table><tr><td>—</td></tr><tr><td>—</td></tr><tr><td>X</td></tr><tr><td>—</td></tr></table>	—	—	X	—	エ.	<table><tr><td>—</td></tr><tr><td>—</td></tr><tr><td>—</td></tr><tr><td>X</td></tr></table>	—	—	—	X
X																							
—																							
—																							
—																							
—																							
X																							
—																							
—																							
—																							
—																							
X																							
—																							
—																							
—																							
—																							
X																							

<設問 2> 次のⅠとⅡのケースに関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

[Ⅰのケース]

家族3人で家族の誕生日のお祝いで誕生月に来店した。注文の合計金額が 4,800 円であり、会員登録はしていない。割引率は (5) になる。

[Ⅱのケース]

プロジェクトの決起集会のため、会社の同僚 10 人で、宴会の 4,000 円コースで来店した。会員登録済みである。割引率は (6) になる。

(5) , (6) の解答群

ア. 5% イ. 10% ウ. 15% エ. 20%

問題2 次のオペレーティングシステム(OS)に関する記述を読み、各設問に答えよ。

OSは、周辺装置を含むコンピュータのハードウェアを有効活用し、ハードウェアとソフトウェアを仲介する役割を果たす。

<設問1> 次のOSの役割に関する記述中の[]に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

OSは、さまざまな役割を持つプログラムの集合体である。OSの役割の一つにタスク管理がある。

タスクはコンピュータが処理を行うときの実行単位である。タスクを実行するにはメモリが必要であり、OSがタスクの生成から消滅までのメモリの割り当てと解放を行う。また、複数のタスクを並行して実行する仕組みを[(1)]という。各タスクのCPUの使用時間を[(2)]という微細な時間に区切り、高速に切り替えることで複数のタスクが同時並行で実行されているように見せる仕組みがある。また、CPUの使用時間をどのタスクに割り当てるかは、優先度順や到着順などいくつかの方法があり、その中で到着順に一定の[(2)]を割り当てる方式を[(3)]という。

(1) ~ (3) の解答群

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| ア. イベントドリブン | イ. タイムスライス | ウ. フラグメンテーション |
| エ. マルチタスク | オ. マルチプロセッサ | カ. ラウンドロビン |

<設問2> 次のOSの起動に関する記述中の[]に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

以前のコンピュータシステムでは電源を入れてコンピュータを起動すると、まずマザーボード上のROMに組み込まれている[(4)]が起動し、ハードウェアを制御可能な状態にする。次に、ハードディスク内のどの領域(パーティション)からOSを起動するか選択され、そのパーティションの[(5)]と呼ばれる領域に記録されたプログラムを呼び出す。呼び出されたプログラムは、OSをメモリに読み込んで起動し、操作可能な状態になる。これら一連の動作をブートという。[(4)]では、参照セクタブロックをセクタサイズとブロックアドレス(LBA)で管理し、上限が決まっていた。具体的には、セクタ512バイト、ブロックアドレス $2^{32}=4G$ なので、512バイト $\times 4G=2TB$ までの容量のディスクからしかブートすることができなかった。

[(4)]に代わる次世代ファームウェアインタフェースが[(6)]と呼ばれ、コンピュータの起動を管理し、OSとの間でハードウェアの初期化やデバイス認識を行う。[(6)]の規格ではGUIDパーティションテーブル(GPT)を用い、2TBを超える大容量ディスクからブートすることができる。

(4) ～ (6) の解答群

ア. BIOS

イ. FAT

ウ. UEFI

エ. ブートセクタ

オ. ロード

問題3 次のネットワークの利用に関する記述を読み、各設問に答えよ。

コンピュータがデータを送受信する場合、どの機器にデータを届けるかわかるようにするため、IP アドレスを利用している。

<設問1> 次のIPアドレスに関する記述中の[]に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

IP アドレスは大きく分けて2種類に分けられる。1つはインターネット上でユニークなアドレスとして扱われ、外部との通信に使用される[(1)]である。もう1つはLAN(家庭や企業内のネットワーク)内で使用される[(2)]である。

[(1)]と[(2)]はそれぞれ相互に変換することでネットワークの内部と外部の通信を可能にしている。相互に変換する際に、1対1で変換する場合はアドレスのみを利用する[(3)]という技術を利用している。またポート番号とアドレスを利用することで、1つの[(1)]で複数のデバイスで通信が可能となる技術を[(4)]という。

(1) , (2) の解答群

ア. IP 電話

イ. ISP

ウ. グローバル IP アドレス

エ. プライベート IP アドレス

(3) , (4) の解答群

ア. NAPT

イ. NAT

ウ. NAS

エ. NTP

<設問2> 次のIPアドレスに関する記述中の[]に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

IP アドレスはクラスというものに分けられており、規模や用途に応じて分類される。IPv4 の場合では IP アドレスの先頭数ビットを見てクラスを判断することができる。例えば、IP アドレスの先頭3ビットが110である場合[(5)]に分類できる。他にもいくつか先頭ビットで判断できるクラスが存在する。

また、IP アドレスにはいくつか特別なものが存在する。同じネットワーク内のすべてのデバイスに一斉にデータを送信するために使用されるIPアドレスを[(6)]と

いう。他にはテストやネットワーク診断などで利用され、外部のネットワークを経由せず、すぐに送信元のコンピュータに送信されたデータが戻る (7) もある。

(5) の解答群

ア. クラス A

ウ. クラス C

イ. クラス B

エ. クラス D

(6) , (7) の解答群

ア. エニーキャストアドレス

ウ. マルチキャストアドレス

オ. リンクローカルアドレス

イ. ブロードキャストアドレス

エ. ユニキャストアドレス

カ. ループバックアドレス

問題 4 次の社会における情報化に関する記述を読み、各設問に答えよ。

インターネットを利用することにより情報通信技術の進展が加速し、人工知能技術と組み合わせて新しいシステムが登場している。人工知能の利活用は様々な分野で広がりがあつた。

＜設問 1＞ 次の情報ネットワーク社会への対応に関する記述に該当する適切な字句を解答群から選べ。

- (1) 自社の Web サイトが検索エンジンで検索されたさいに、より上位に表示されるようにする技術・サービスである。ユーザがどのような目的で閲覧したかを解析して、コンテンツの充実や目的の Web ページへ遷移しやすいナビゲーションの配置など、Web サイトの設計技術も含まれる。
- (2) 店舗での売上情報や購買履歴、サービス利用履歴など、大量にある情報を様々な角度から分析し、その中に潜む法則や因果関係など有用な情報を発掘する技術である。
- (3) センサと通信機能を組み込まれたモノがインターネットを通じてコンピュータにつながり、互いにその情報を補完し合い、自動制御などを実現する仕組みである。“モノのインターネット”とも呼ばれている。
- (4) カーナビの走行データ、様々な機器に組み込まれたセンサの情報やサーバのログ、SNS の大量の書き込みから得られる位置情報や投稿内容など、日々生成される多種多様で膨大なデータ群のことである。

(1) ～ (4) の解答群

- | | |
|-------------|--------------|
| ア. IoT | イ. ISP |
| ウ. SEO | エ. データクレンジング |
| オ. データマイニング | カ. ビッグデータ |

問題5 次の情報セキュリティに関する記述を読み、各設問に答えよ。

コンピュータネットワークが身近なものになり、無意識のうちにコンピュータネットワークを利用している。コンピュータネットワークには、盗聴・改ざん・なりすましなどの様々な脅威が存在しており、それらの脅威に対抗するための技術や仕組みが考案され、情報セキュリティ対策が施されている。

＜設問1＞ 次の企業におけるセキュリティに関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

□□□□(1)は、従業員が業務に使用するIT機器・サービスのうち、企業が承認していないものを指す。具体的には、普段プライベートで使用しているSNSなどのSaaS、オンラインストレージといったクラウドサービス、個人所有のデバイスなどを企業側の許可なく業務に使用している状態を指す。従業員が自身の業務効率をあげるために利用してしまうことにより、大きなトラブルに巻き込まれることもあるため、企業も利用を放置できなくなっている。この対策としては、企業内研修などで従業員にセキュリティリスクなどを理解してもらうことが有効である。

また、□□□□(2)を利用することも一つの方法である。□□□□(2)は、端末の機能を最小限に抑えつつ、データ保存などをサーバ側に一任するシステムの構築方式である。

(1)、(2)の解答群

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| ア．インテリジェント端末 | イ．グリーンIT | ウ．サンクションIT |
| エ．シャドーIT | オ．シンクライアント端末 | |

＜設問2＞ 次の暗号化方式に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

データ通信では、通信途中でデータが盗聴される可能性がある。そこで、盗聴されても意味のわからない情報にするため、暗号化したデータで通信を行う場合があり、次のような暗号方式がある。

[□□□□(3)暗号方式]

暗号化鍵と復号鍵が同じ方式で、送信側は暗号化鍵を使って送信しようとするデータ(平文)から暗号文を作って送信し、受信側は復号鍵を使って受け取った暗号文を平文に戻す。暗号化や復号の処理時間は短いという利点もあるが、他の通信と鍵が重複しないように、鍵の管理を厳重にする必要がある。

[(4) 暗号方式]

暗号化鍵と復号鍵が異なる方式で、公開鍵と秘密鍵のペアで構成される。このペアの鍵は一方の鍵で暗号化すれば、他方の鍵で復号できる特徴がある。この方式の利用例として、送信側は受信側の公開鍵を入手して暗号文を作り送信する。受信側は受信側の秘密鍵で復号する。鍵の管理は容易であるが、暗号化や復号の処理時間は長いという欠点もある。

[ハイブリッド暗号方式]

(3) 暗号方式と (4) 暗号方式を組み合わせる方式が、ハイブリッド暗号方式である。ハイブリッド暗号方式は、図に示すような手順で行われる。

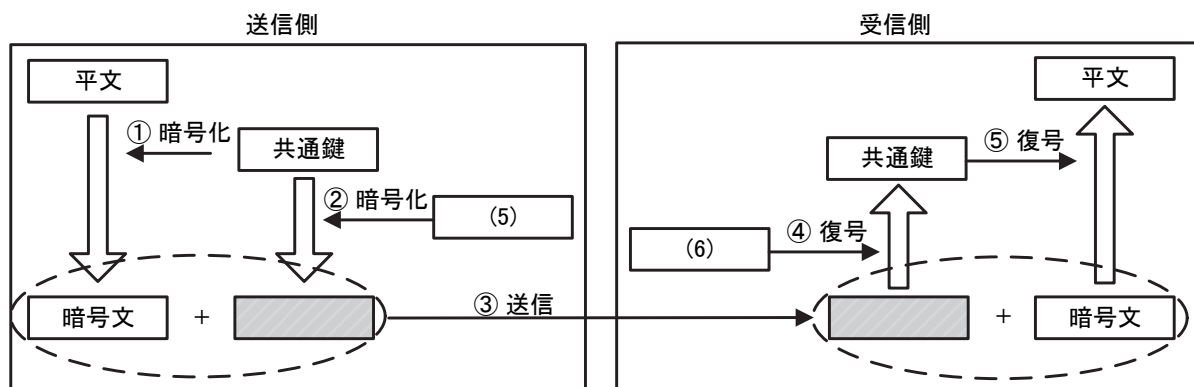


図 ハイブリッド暗号方式の送信手順

[ハイブリッド暗号方式によるデータの送信]

(送信側)

- ① 共通鍵を生成し、平文を暗号化する。
- ② 共通鍵を (5) で暗号化する。
- ③ ①および②で作成された暗号文を送信する。

(受信側)

- ④ ②の暗号文を (6) で復号する。
- ⑤ ①の暗号文を④復号した共通鍵で復号する。

(3) , (4) の解答群

- ア. 暗号化鍵 イ. 共通鍵 ウ. 公開鍵 エ. 復号鍵

(5) , (6) の解答群

- ア. 共通鍵 イ. 受信側の公開鍵 ウ. 受信側の秘密鍵
 エ. 送信側の公開鍵 オ. 送信側の秘密鍵

＜設問 3＞ 次の鍵の数に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

暗号通信で使用する鍵の数は、用いる暗号方式により異なる。暗号化と復号で同じ鍵を利用する方式では、通信相手ごとに鍵を用意する必要があり、 n 人で通信する場合 (7) 個の鍵が必要である。また、暗号化と復号で異なる鍵を利用する方式では、各人が暗号化鍵と復号鍵の 2 個を用意する必要があり、 n 人で通信する場合 (8) 個の鍵が必要である。

(7) , (8) の解答群

ア. $n/2$

イ. $n(n-1)/2$

ウ. n

エ. $2n$

問題6 この問題で使用する表計算ソフトの仕様を読み、各設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

COUNTIF 関数

指定した範囲に含まれるセルのうち、条件に一致するセルの個数を返す。

書式：COUNTIF(範囲, 条件)

CONCATENATE 関数

複数の文字列を結合して1つにまとめた文字列を返す。

書式：CONCATENATE(文字列1, 文字列2, …)

IF 関数

条件が真のときに真の場合、偽のときに偽の場合の計算結果や値を返す。

書式：IF(条件, 真の場合, 偽の場合)

INDEX 関数

範囲の左上端から行と列をそれぞれ1, 2, …と数え、範囲に含まれる行位置と列位置で指定したセルの値を返す。

書式：INDEX(範囲, 行位置, 列位置)

MATCH 関数

検査範囲から検査値が存在するセルの相対的な位置を返す。位置は1から始まる相対的な値である。検査範囲は1行または1列である。検査の型は、検査値と等しい最初の値を検索する場合は0、検査値以下の最大の値を検索する場合は1、検査値以上の最小の値を検索する場合は-1を指定する。該当するものが複数存在する場合は最初に出現する位置を返す。

書式：MATCH(検査値, 検査範囲, 検査の型)

RANK 関数

範囲内の数値を並べたときに指定した数値が何番目になるかを返す。順序は、降順の場合は0、昇順の場合は1を設定する。なお、数値の項目に数値以外の値が含まれた場合はエラーとなり、範囲の項目に数値以外の値が含まれた場合は無視される。

書式：RANK(数値, 範囲, 順序)

ROW 関数

ROW関数が入力されているセルの行位置を返す。

書式：ROW()

SUMIF 関数

指定した検索範囲の中で、条件に一致するセルの範囲に対応するセルの値の合計値を返す。

書式：SUMIF(検索範囲, 条件, 範囲)

式

=に続いて計算式や関数などを入力する。

セル番地の絶対参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地(絶対参照)を表す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより、別のワークシートを参照できる。例:ワークシート名「集計」のセルA1を参照する場合は、「集計!A1」と記述する。

日本全国に営業所を持つ自動車販売会社がある。この販売会社では毎月表計算ソフトを使って集計した営業スタッフの売上成績を基に表彰を行っている。

[売上データワークシートについて]

営業所のある都道府県（以下地域とする）ごとに営業スタッフと、その営業スタッフの1カ月の売上金額をまとめたデータである。地域ごとに並んでおり、500行まで入力されている。

	A	B	C
1	地域	営業スタッフ	売上額（万円）
2	北海道	佐藤 さゆり	488
3	北海道	山田 千代	370
4	北海道	松本 浩	94
⋮	⋮	⋮	⋮
498	沖縄県	松本 修平	488
499	沖縄県	木村 拓真	168
500	沖縄県	鈴木 さゆり	94

図1 「売上データ」ワークシート

<設問 1> 次の「地域ランキング」ワークシートの作成に関する記述中の□に入
 入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

「売上データ」ワークシートの地域ごとの売上額の合計を基に順位を付けた「地域
 ランキング」ワークシートを作成する。順位は売上額の多い方を上位の順位とし、売
 上額が同じ場合は同順位とする。

	A	B	C
1	地域	売上額（万円）	順位
2	北海道	3166	19
3	青森県	2616	34
4	岩手県	2808	32
⋮	⋮	⋮	⋮
46	宮崎県	2582	35
47	鹿児島県	3211	18
48	沖縄県	2827	30

図2 「地域ランキング」ワークシート

- ・1行目に列見出しを入力した。
- ・セル A2～A48 に 47 都道府県名を入力した。
- ・B 列は地域ごとの売上額の合計を表示する。セル B2 に次の式を入力し、セル B3～
 B48 に複写した。

=□(1)

- ・C 列は地域ごとの売上額を基にした順位を表示する。セル C2 に次の式を入力し、セ
 ル C3～C48 に複写した。

=□(2)

(1) の解答群

- ア. SUMIF(売上データ!A\$2:A\$500, A2, 売上データ!C\$2:C\$500)
- イ. SUMIF(売上データ!A\$2:A\$500, A\$2, 売上データ!C\$2:C\$500)
- ウ. SUMIF(売上データ!C\$2:C\$500, A2, 売上データ!A\$2:A\$500)
- エ. SUMIF(売上データ!C\$2:C\$500, A\$2, 売上データ!A\$2:A\$500)

(2) の解答群

- ア. RANK(B2, B\$2:B\$48, 0)
- イ. RANK(B2, B\$2:B\$48, 1)
- ウ. RANK(B\$2, B\$2:B\$48, 0)
- エ. RANK(B\$2, B\$2:B\$48, 1)

<設問 2> 次の「売上データ」ワークシートの拡張に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図 1 の「売上データ」ワークシートの D 列に売上額の多い順に付けた順位を表示する。ただし、売上額が同じ場合は格納されている行の位置が小さい方を上位の順位として同順位が無いようにする。

	A	B	C	D
1	地域	営業スタッフ	売上額（万円）	順位
2	北海道	佐藤 さゆり	488	13
3	北海道	山田 千代	370	175
4	北海道	松本 浩	94	452
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
498	沖縄県	松本 修平	488	17
499	沖縄県	木村 拓真	168	381
500	沖縄県	鈴木 さゆり	94	453

図 3 拡張した「売上データ」ワークシート

- ・ RANK 関数により順位を求めると同じ値の場合は同じ順位になる。そこで、セル D2 に次の式を入力し、セル D3～D500 まで複写した。この式は、売上額全体の中から指定の売上額以上のデータ件数を求め、そこから指定の位置より下の行にある同値のデータ件数の差分をとることにより順位を求めるものである。

= COUNTIF(C\$2:C\$500, CONCATENATE(">=", C2)) - (3)

(3) の解答群

- ア. COUNTIF(C2:C\$500, C2) - 1
- イ. COUNTIF(C2:C\$500, C2) + 1
- ウ. COUNTIF(C\$2:C\$500, C2) - 1
- エ. COUNTIF(C\$2:C\$500, C2) + 1

＜設問 3＞ 次の「全体ランキング」ワークシートの作成に関する記述中の□に入るべき適切な字句を解答群から選べ。

図 3 の拡張した「売上データ」ワークシートの D 列を基に上位者を表示する「全体ランキング」ワークシートを作成する。ここでは、順位が 1 ～10 までを表示する。

	A	B	C	D	E
1	順位	位置	地域	営業スタッフ	売上額（万円）
2	1	57	山形県	森 七夏	500
3	2	291	大阪府	中村 あすか	500
4	3	199	山梨県	斎藤 和也	497
5	4	143	神奈川県	高橋 晃	496
6	5	210	長野県	山田 花子	494
7	6	64	福島県	佐藤 くみ子	492
8	7	99	群馬県	渡辺 京助	492
9	8	170	富山県	松本 花子	492
10	9	104	埼玉県	小林 直人	491
11	10	191	福井県	小林 翔太	490

図 4 「全体ランキング」ワークシート

- ・ 1 行目には列見出しを、セル A2～A11 には順位として 1～10 を入力した。
- ・ セル B2 は、「売上データ」ワークシートの順位が 1 となっているデータを格納している行位置を表示する。セル B2 に次の式を入力し、セル B3～B11 に複写した。
= □ (4)
- ・ C 列は、B 列に表示された行位置を基に地域を表示する。次の式をセル C2 に入力し、セル C3～C11 およびセル D2～E11 まで複写して営業スタッフと売上額も表示する。
= □ (5)

(4) の解答群

- ア. MATCH(A2, 売上データ!D\$2:D\$500, 0)
- イ. MATCH(A2, 売上データ!D\$2:D\$500, 1)
- ウ. MATCH(A\$2, 売上データ!D\$2:D\$500, 0)
- エ. MATCH(A\$2, 売上データ!D\$2:D\$500, 1)

(5) の解答群

- ア. INDEX(売上データ!A2:A500, B2, 1)
- イ. INDEX(売上データ!A\$2:A\$500, B2, 1)
- ウ. INDEX(売上データ!A\$2:A\$500, \$B2, 1)
- エ. INDEX(売上データ!\$A\$2:\$A\$500, \$B2, 1)

＜設問 4＞ 次の「地域内ランキング」ワークシートの作成に関する記述中の□に入
 入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

指定した地域の営業スタッフと売上額を「売上データ」ワークシートから抽出して
 先頭から詰めて格納し、売上額の多い順に付けた順位を表示する「地域内ランキン
 グ」ワークシートを作成する。なお、各地域の営業スタッフは1名以上 15 名以下である
 ことが分かっているので最大で15名を表示する。15名に満たない部分は空欄とする。

	A	B	C	D
1	地域	長崎県	440	
2	No	営業スタッフ	売上額（万円）	順位
3	1	阿部 零	487	1
4	2	伊藤 春香	487	1
5	3	吉田 学	397	6
6	4	高橋 直子	376	8
7	5	佐々木 直子	385	7
8	6	佐藤 浩	409	5
9	7	佐藤 美加子	114	9
10	8	山本 学	62	10
11	9	村上 智也	434	4
12	10	藤田 零	480	3
13				
14				
15				
16				
17				

図 5 「地域内ランキング」ワークシート

- セル A1 に“地域”を入力し、セル B1 に表示する地域を入力する。セル B1 は 47 都
道府県名をリストに登録し、そこからプルダウンで選択できるようにする。また、
2 行に列見出しを入力した。
- セル C1 は、セル B1 に入力した地域が「売上データ」ワークシートの何行目に最初
に格納してあるかを表示する。セル C1 に次の式を入力した。

$$= \text{MATCH}(B1, \text{売上データ!A2:A500}, 0)$$
- A 列は、1 から始まる連番を該当する地域の営業スタッフの人数まで表示する。「売
上データ」が地域ごとに並んでいることに着目した次の式をセル A3 に入力し、セ
ル A4～A17 まで複写する。

$$= \text{IF}(\square(6), \text{ROW}() - 2, "")$$
- B 列は、地域の営業スタッフを「売上データ」ワークシートに入力されている順に
表示する。セル B3 に次の式を入力し、セル B4～B17 に複写する。また、セル C3～
C17 にも複写して営業スタッフの売上額を表示する。

$$= \square(7)$$
- D 列は、売上額の多い順に付けた順位を表示する。売上額が同じ場合は同順位とす
る。セル D3 に次の式を入力し、セル D4～D17 に複写した。

$$= \square(8)$$

(6) の解答群

- ア. INDEX(売上データ!A\$2:A\$500, B1 + ROW() - 3, 1)=C1
- イ. INDEX(売上データ!A\$2:A\$500, B\$1 + ROW() - 3, 1)=C\$1
- ウ. INDEX(売上データ!A\$2:A\$500, C1 + ROW() - 3, 1)=B1
- エ. INDEX(売上データ!A\$2:A\$500, C\$1 + ROW() - 3, 1)=B\$1

(7) の解答群

- ア. IF(A3="", "", INDEX(売上データ!\$B\$2:\$B\$500, C\$1 + ROW() - 3, 1))
- イ. IF(A3="", "", INDEX(売上データ!\$B\$2:\$B\$500, \$C\$1 + ROW() - 3, 1))
- ウ. IF(\$A3="", "", INDEX(売上データ!B\$2:B\$500, C\$1 + ROW() - 3, 1))
- エ. IF(\$A3="", "", INDEX(売上データ!B\$2:B\$500, \$C\$1 + ROW() - 3, 1))

(8) の解答群

- ア. IF(A3="", "", RANK(C\$3, C\$3:C\$17, 0))
- イ. IF(A3="", "", RANK(C3, C\$3:C\$17, 0))
- ウ. IF(A3="", "", RANK(C\$3, C\$3:C\$17, 1))
- エ. IF(A3="", "", RANK(C3, C\$3:C\$17, 1))

